

令和5年度



紫原中学校入学説明会



時間	内容
14:15~15:05	1 中学校説明 (1) はじめの言葉 (2) 学校説明 ア PTA会長挨拶 イ 入学に向けて(教頭) ウ 生徒心得(生徒指導主任) (3) 校長先生の話 (4) 終わりの言葉
15:15~16:40	2 制服・ジャージ等 採寸
16:40~17:30	3 部活動見学(希望者)

令和6年1月16・17日(火・水)

鹿児島市立紫原中学校

鹿児島市紫原6丁目31番19号

電話 099-257-4554

FAX 099-257-4507



令和5年度 紫原中学校グランドデザイン

経営の基調

- 1 憲法、教育関係法規及び県・市教育行政の重点施策
- 2 鹿児島市教育大綱及び教育振興基本計画
- 3 本校の歴史や伝統、生徒や地域の実態

学校教育目標

**志高く、自ら学び考え行動する、心豊かでたくましい生徒の育成
一人権尊重の精神を基盤に、地域ぐるみで自己肯定感・自己有用感の育成、そして、仲間づくり**

第二次鹿児島市教育振興基本計画

- 【か】鹿児島市に誇りをもち、
- 【こ】これからの時代に必要な生きる力を養い、
- 【し】心身ともにたくましく
- 【ま】学び続ける人材を社会全体で育成します。

めざす学校像

- 生徒の個性が輝き、夢を実現していく学校
- 人格の形成を目指し、毎日に感動がある学校
- 職員の取組や保護者の願いが結実する学校

校訓とめざす生徒像

- 【自主】：自ら気づき、考え、正しく判断し、行動できる生徒
- 【愛知】：自ら課題を見付け、考え、主体的に学び続ける生徒
- 【健康】：よりよい生活習慣に関心をもち心身共に健康で活力に満ちた生徒
- 【協和】：思いやりの心を持ち、互いに認め合い協力できる心豊かな生徒

めざす教師像

- 教育に対する情熱と人間愛に溢れる教師
- 豊かな人間性と柔軟な思考力を兼ね備える教師
- 組織として協調性を有し互いに高め合う教師
- 「教育は信頼」を自覚し教育実践する教師

【令和4年度の重点課題】

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 望ましい学習環境・学校環境
- 4 教職員の資質向上
- 5 家庭・地域社会との連携・協働

キャッチフレーズ

明日も行きたい紫原中学校

学校評価による検証

「もっと『明日も行きたい紫原中』にするには」

重点課題1に対して

学習者基点の学び

取組1 学ぶ楽しさや成就感を感じる授業

- 1 学ぶ意欲の向上と学習習慣の確立
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善
- 3 形成的評価としての各種学力検査等の位置づけ
- 4 ICT機器活用の充実（一人一台端末の活用促進）
- 5 総合的な学習の時間の充実（課題解決学習の導入）
- 6 特別支援教育の充実
(指導体制・指導計画・指導方法)
- 7 全教育活動を通じた言語活動の充実
- 8 体験学習の導入と外部人材の積極的な活用
- 9 全教育活動を通じたキャリア教育の推進

生徒が行きたい学校

保護者にとっても通わせたい学校

重点課題2に対して

豊かな関係性と自己有用感

取組2 豊かな心を育む教育活動

- 1 自己肯定感・自己有用感を育む開発的生徒指導の推進
- 2 「居場所づくり」、「絆づくり」に視点を置いた学年・学級経営
- 3 深い生徒理解に基づくチームによる不登校支援
- 4 いじめ問題への計画的、継続的な取組
- 5 「考え、議論する」道徳科授業の実践
- 6 人権教育の充実
- 7 望ましい人間関係づくりに視点を置いた学級活動
- 8 生徒会活動の活性化
- 9 所属感や一体感を高める学校行事
- 10 感動体験の場としての部活動の充実

取組3 学校課題と結びついた職員研修

- 1 授業を通じた研修による授業力の向上
- 2 より深い生徒理解に資する研修の充実
- 3 職員研修を通じた職員相互の学び合いの場の充実

重点課題3に対して

取組4 落ち着いた学習環境づくり

- 1 「学校の新しい生活様式」を踏まえた教育活動の充実（感染症対策の徹底）
- 2 生徒指導体制の確立と関係機関との行動連携
- 3 「凡事徹底」の学校生活
【一校一改革】3Mの実践（黙想・門礼・無言清掃）
- 4 望ましい生活リズムを確立するための手立て
- 5 発達段階に応じた系統的・計画的な健康教育

重点課題4に対して

教職員にとって充実感がある学校

取組5 不祥事根絶・業務改善に向けた取組

- 1 服務規律の厳正確保に向けた取組
- 2 意識改革による業務改善
- 3 協働の醍醐味が感じられる職員室

重点課題5に対して

取組6 コミュニティ・スクールを生かした地域社会との連携・協働

- 1 学校運営協議会の充実
- 2 地域学校協働活動（学校支援ボランティア）との連動
- 3 生徒による地域貢献の場づくり

地域にとって信頼できる学校

自他を尊重し、互いに認め合う人権尊重の精神

《入学説明会資料》

1 生徒数 令和6年度(1月10日現在 見込み)

	男子	女子	計	
1年生	116	141	257	
2年生	110	97	207	
3年生	129	124	253	
計	355	362	717	← 総計(予定)

2 学級数

	1年生	2年生	3年生	特別支援学級	計	
5年度	5	6	6	9	26	
6年度	7	5	6	8	26	(予定)

3 主な行事

月	行 事
4	・新任式 ・始業式 ・入学式 ・来校三者相談 ・定期検診 ・身体計測 ・学年学級懇談会 ・標準学力検査 ・知能検査 ・避難訓練 ・生徒会入会式 ・部活動紹介 ・PTA総会 ・新入職員歓迎式 ・3年全国学力・学習状況調査
5	・3年実力テスト ・定期検診 ・弁当の日 ・ 体育大会 ・3年職業講話 ・健康教室 ・交通安全教室 ・生徒総会
6	・市郡総体 ・期末テスト ・情報モラル教室 ・3年上級学校説明会
7	・学年学級懇談会 ・終業式 ・県総体
8	・親子ふれあい奉仕作業 ・PTAリサイクル活動
9	・始業式 ・実力(3年共通)テスト ・生徒会立会演説会
10	・市総体駅伝大会 ・中間テスト ・合唱コンクール(学習発表会) ・生徒会引継ぎ総会 ・ 2年修学旅行 ・1年集団宿泊学習
11	・3年共通テスト ・教育相談 ・期末テスト ・地域貢献活動 ・3年三者相談 ・学年学級懇談会 ・弁当の日
12	・3年面接マナー教室 ・終業式
1	・始業式 ・3年実力テスト ・鹿児島学習定着度調査(1・2年) ・キャリア教育講演会 ・入学説明会 ・私立高校入試開始
2	・公立高校推薦入試 ・学年末テスト ・学年学級懇談会
3	・公立高校入試 ・クラスマッチ ・卒業式 ・修了式 ・辞任式

* 学年学級懇談会とは別に授業参観を計画

【入学にあたって】

1 中学校に入学すると

中学校は、義務教育9か年の最後のまとめの3か年の勉強をするところです。今まで「児童」と呼ばれていましたが、これからは「生徒」と呼ばれます。小学校の「委員会活動」が、中学校では「生徒会活動」となるなど、多少違いもありますが、これまで以上に自覚と責任ある言動で生活していきましょう。生徒会については、入学後オリエンテーション等で詳しく説明します。

2 中学校での学習について

(1) 勉強する教科の数や呼び名が変わります。

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語、道徳、学活、総合的な学習の時間等があります。

(2) 中学1年生の1週間の授業時数は、次のとおりです。

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	裁量	合計
時数	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	1	30

(3) 授業は教科によって担当の先生が変わります。

授業は、それぞれの教科の専門の先生が教えます。したがって、1時間(50分)ごとに授業をする先生が変わります。

(4) 基礎・基本が大切です。毎日、宅習する習慣を身につけましょう。

小学校で学んだことを基礎として、それよりも程度の高い勉強をします。だから、「小学校で学んだことをまとめておくこと」「毎日予習・復習をすること」が大切です。中学1年生では、毎日2時間以上の宅習が必要です。(学年プラス1時間の推進)

なお、学習の習慣が小学校のうちから身に付いていると、中学校入学後の学習が一層充実していきます。

3学期は来年度の「0学期」と中学校では言っています。現在の学習をきちんとまとめておいて、中学校での学習に備えておくことが大切です。

(5) テストは1学期(標準学力検査、期末テスト)、2学期(実力テスト、中間テスト、期末テスト)、3学期(鹿児島学習定着度調査、学年末テスト)にそれぞれ実施し、授業態度や提出物の状況等を総合的にみて評価します。(テストは令和5年実施分)

テスト範囲を指定して実施されますので、普段の授業や宅習を大事にして取り組みましょう。

(6) 中学校には、いろいろな部活動があります。

部活動は、希望参加です。「心」「技」「体」を鍛えましょう。入部の方法、練習等については、部活動規定に示されています。

【令和5年度の本校の部活動】

部活動名	部活動名	部活動名
男子バスケットボール部	野球部	吹奏楽部
女子バスケットボール部	男子ソフトテニス部	合唱部
男子バレーボール部	女子ソフトテニス部	美術部
女子バレーボール部	陸上部	
卓球部	剣道部	
サッカー部		

※ 入学後、部活動については詳しい説明があります。

3 保健室より

(1) 健康管理について

- ア 学校保健安全法に基づき健康診断が実施されます。結果は、異常がある場合のみお知らせします。早期に医療機関で受診され、その結果をお知らせください。
- イ 学校での健康管理に役立てるために、入学後に「保健調査票」を配布しますので、健康状態をお知らせください。なお、健康上心配な点・配慮を要する場合は、できるだけ早いうちに詳しくお知らせください。
- ウ 中学校3年間は、心身ともに急激に成長するときです。自主的に心身の健康の保持増進に努めることができるように、毎日の食事・運動・睡眠など健康な生活習慣を身につけていく指導をお願いします。

(2) 保健室の利用について

- ア 保健室は、健康診断・健康相談・救急処置を行う場です。
- イ 学校において、急を要する怪我や体調不良で早退が望ましいと判断したときに早退をさせます。その際、保護者に連絡をしますので、迎えに来てくださるようお願いいたします。なお、「保健調査票(入学配布)」や「家庭環境調査票(入学配布)」に緊急連絡先を記入する欄がございますが、確実に連絡を取るために2カ所以上記入してください。なお勤務中に携帯電話に出られない場合は、**勤務先もお知らせください。(大きなけがや発熱時に連絡が取れず困ることがあります。)**

(3) 学校において予防すべき感染症について

集団生活を行う学校では、学校保健安全法により下のような病気が学校において予防すべき感染症として定められています。これらの病気にかかった場合には、感染予防のために出席停止扱いとなります。速やかに医師の診察を受け、学校へ連絡してください。登校は、医師による登校許可が出てからにしてください。

〈感染症のおもな種類〉

第2種 対象疾病	出席停止の期間
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適切な抗菌薬治療が終了するまで
麻疹	解熱したあと3日を経過するまで
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘	全ての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医等において、感染の恐れがないと認めるまで
結核	感染のおそれがないと認めるまで

(4) 独立行政法人日本スポーツ振興センターについて

お子さんが、学校管理下でおきた傷病で医療機関にかかったときに、医療費や見舞金が給付される共済制度のことです。

〈給付の適用範囲〉

- ・健康保険を使用し、窓口で1,500円以上支払った場合

〈年間掛金〉

- ・共済掛金 保護者負担額 460円

(共済掛金 920円のうち、市の補助額を差し引き後の金額です。)

【入学式等について】

1 第58回入学式

- (1) <日 時> 令和6年4月8日(月) 13時集合<予定>
- (2) <場 所> 本校体育館
- (3) <当日の日程> 後日詳細はご案内いたします。

2 入学式における確認事項

- (1) 服 装・・・学校が指定する制服(冬服)で登校してください。
- (2) 持ってくるもの・・・生徒はスリッパ, 補助バック, 筆記用具
(靴・スリッパには必ず記名してください。)
- ◆学級懇談会を予定していますので, 保護者の方もスリッパ等ご準備ください。
- (3) その他・・・式当日緊急の連絡・問い合わせ等ありましたら, 紫原中学校まで連絡
ください。(TEL:099-257-4554)

3 物品販売について(入学前に購入するもの)

- (1) 販売日 令和6年3月26日(火) 13:00~15:00
(代金と引き換えになります)
- (2) 場 所 紫原中学校体育館
- (3) 留意点 校庭には駐車できません。職員用の駐車場は台数に限りがあるので, 時間をずらしたり乗り合わせたりして来校ください。路上駐車はできませんのでご注意ください。